



蜘蛛の巣を
つつき
行くぞ！

よし
これより



私も
同行させて
いただきます

おや？
警察の方が
何用で
ござい
ましよう？



すごい
大部隊ですね
こんなの
初めて
見ました

あ？
お前
軍用女畜
だろ

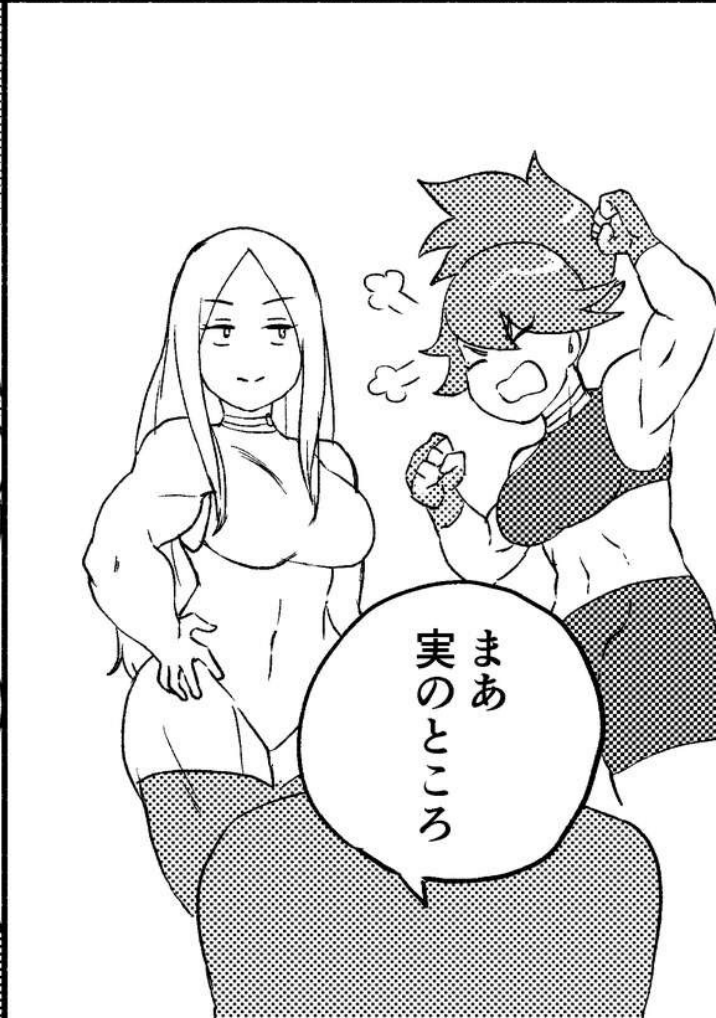


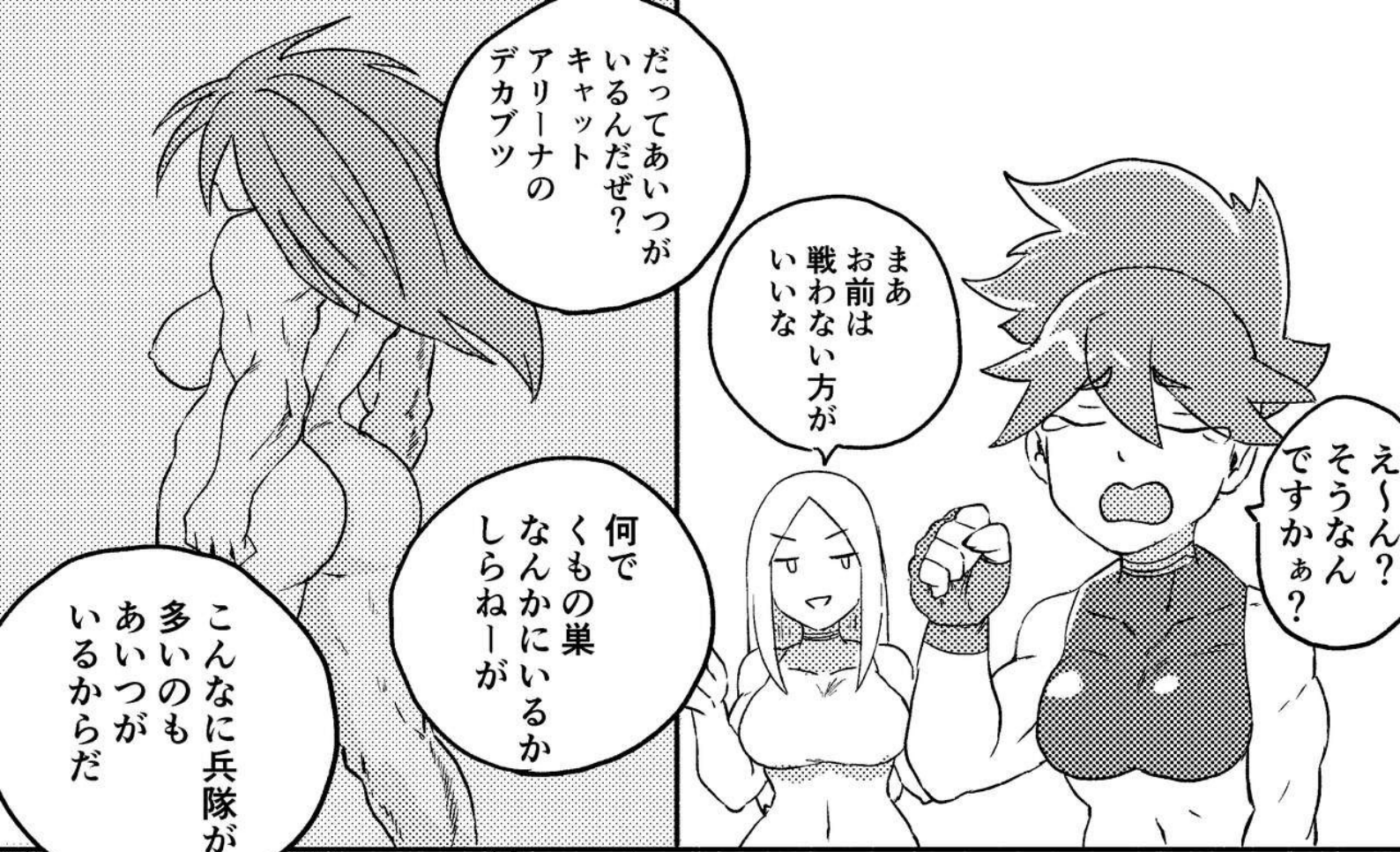
殿方の命令
とあらば
なんなりと



私は元々
現場派
なので

この目で
見なければ
気が
すみません
ので





だってあいつが
いるんだぜ？
キャット
アリーナの
デカブツ

まあ
お前は
戦わない方が
いいな

え〜ん？
そうなん
ですかあ？

何で
くもの巢
なんかにいるか
しらねーが

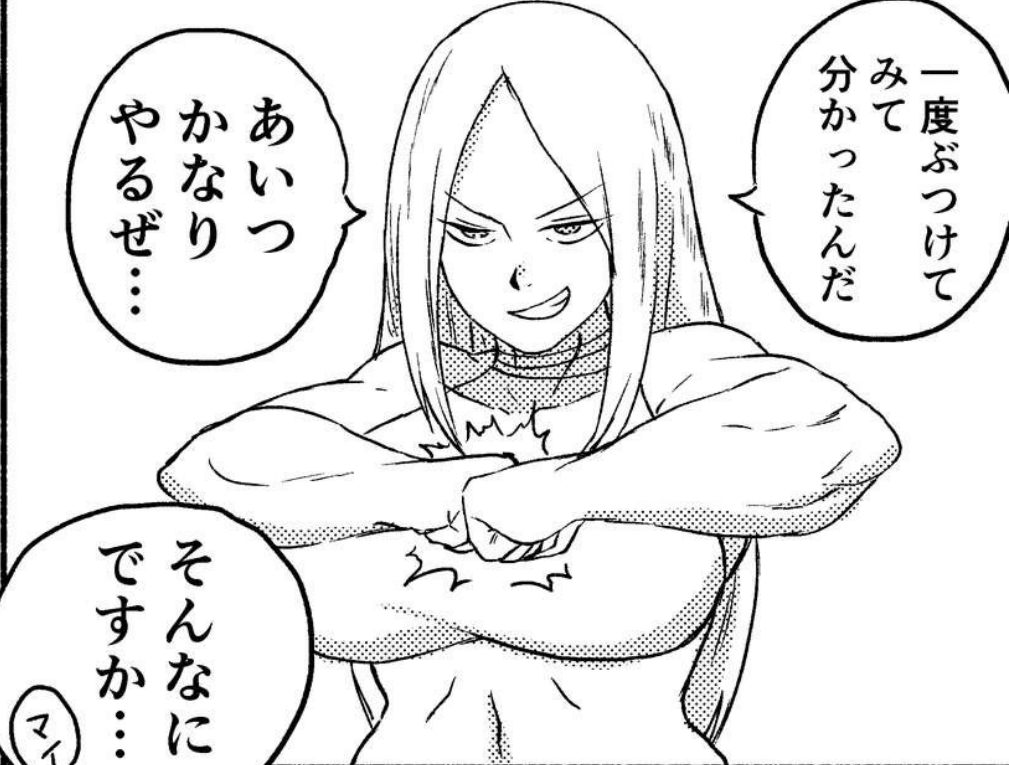
こんなに兵隊が
多いのも
あいつが
いるからだ



はい

まあ
基本は
軍隊に
まかせておけ

ほう…



一度ぶつけて
みて
分かったんだ

あいつ
かなり
やるぜ…

そんなに
ですか…
マイ

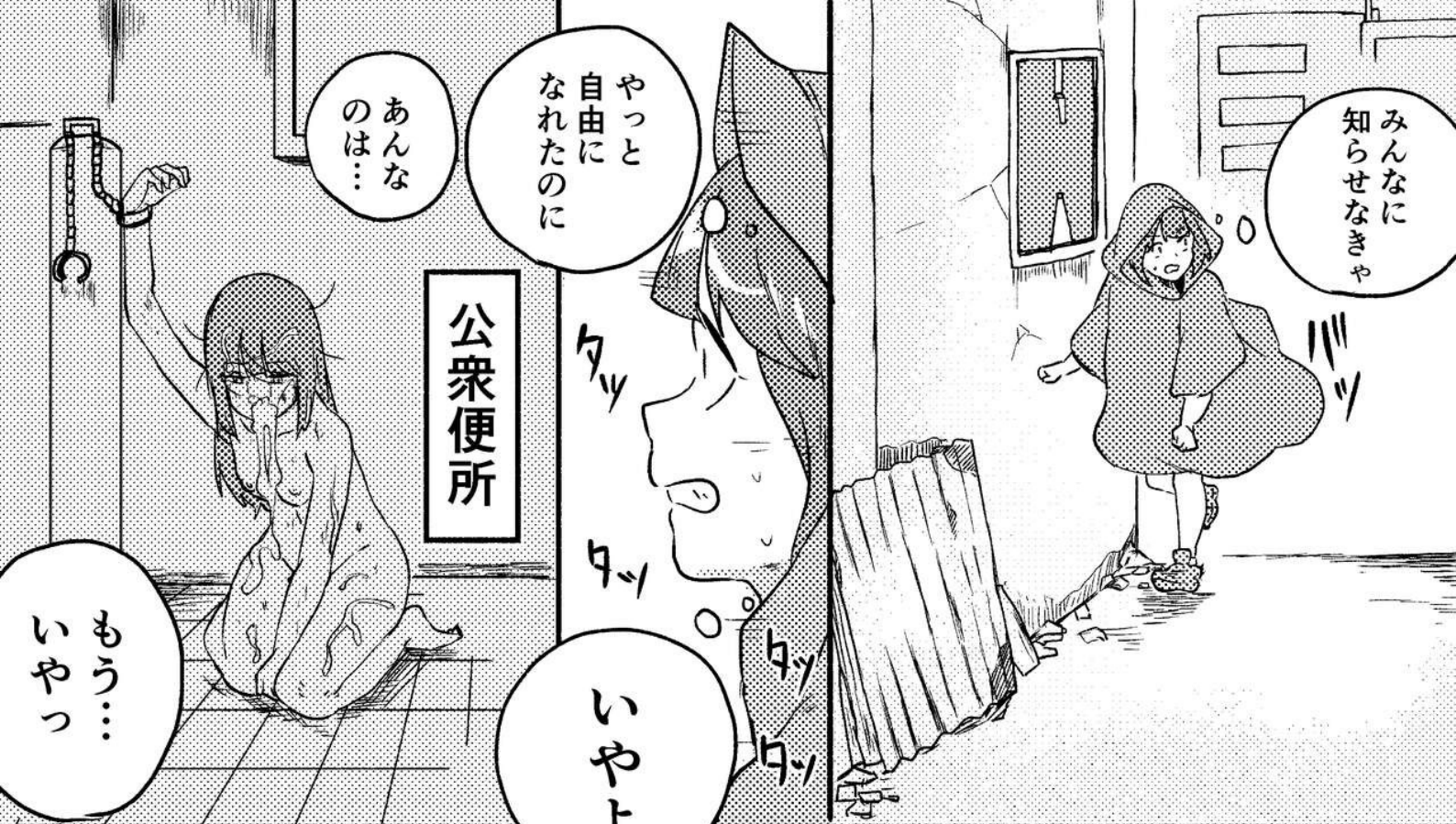


なによ
あれ…

軍隊が
あんなに

ああいう
女畜の扱い方
もあるのか…

あの女畜達は
ある程度
自由を認められて
いるように
見える…



あんなのは…

やっと自由になれたのに

みんなに知らせなきゃ

公衆便所

もう… いやっ

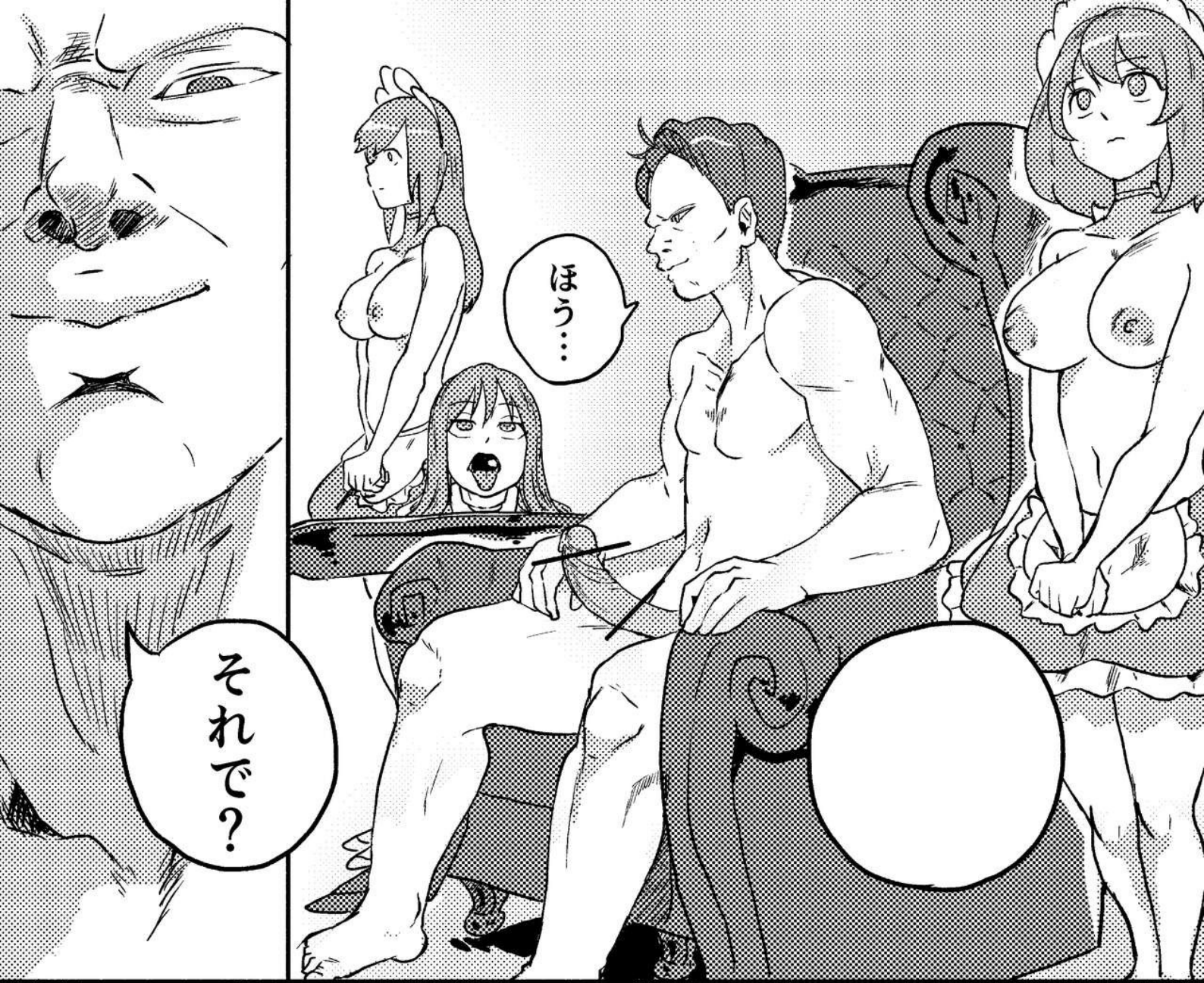
いやよ



わたくしも全てのイレギュラーを制御することはできませんわ

そして膿は取り除けばいいのですわ

ご主人様。



軍のハイグレードね：
よくあの堅物が許した
ものだ

女畜の創造主のわたくしの
言う事は絶対ですわ

この世界は女畜無しでは
成り立ちませんもの

そして貴方様は
そんなわたくしの

ご主人様
ですわ ■

以前からご所望の
わたくしに限りなく近い
クローンですわ

あなた
いらっしやい

頭もよく
ご主人様のと
お役に立つかと
存じますわ





ほう、
素晴らしい…

伏兵だ！
他にも
いるかも知れんぞ！

隊長ー！
どうされましたか？！



さて
お前だが

こんな奴が
いるなんて

くっ
苦しい
なんて力…

やばいやばい
どうしよう…！

聞いてない…！

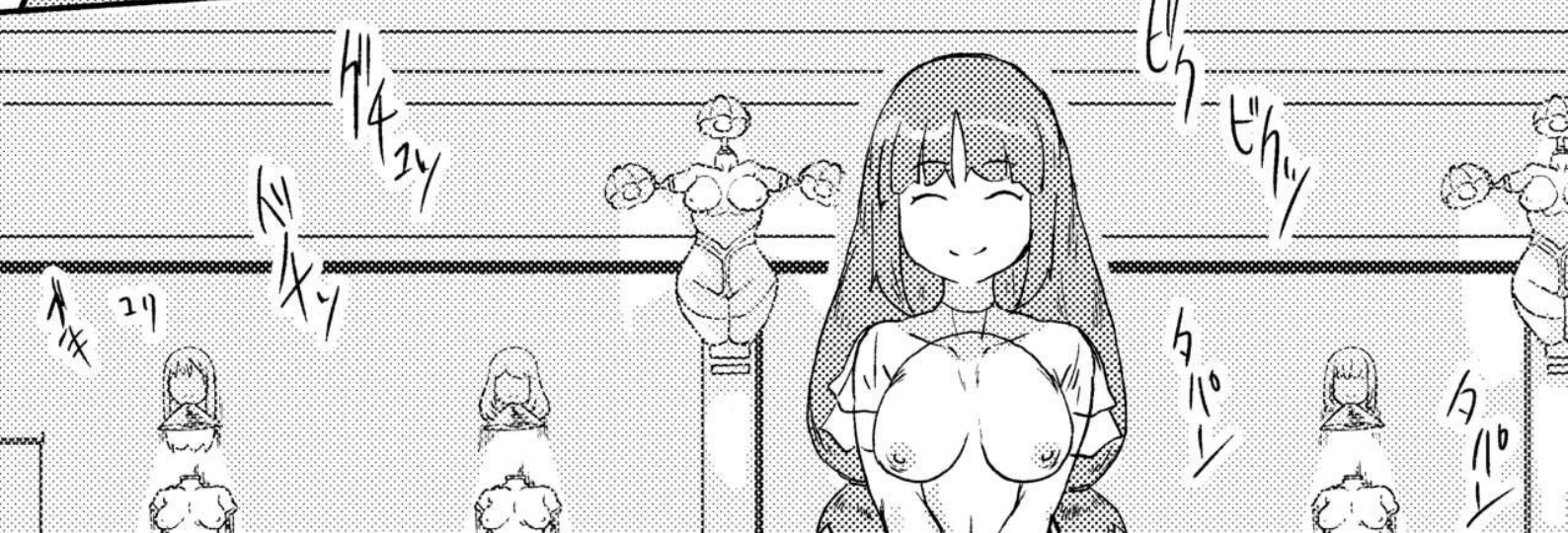
キリ
キリ

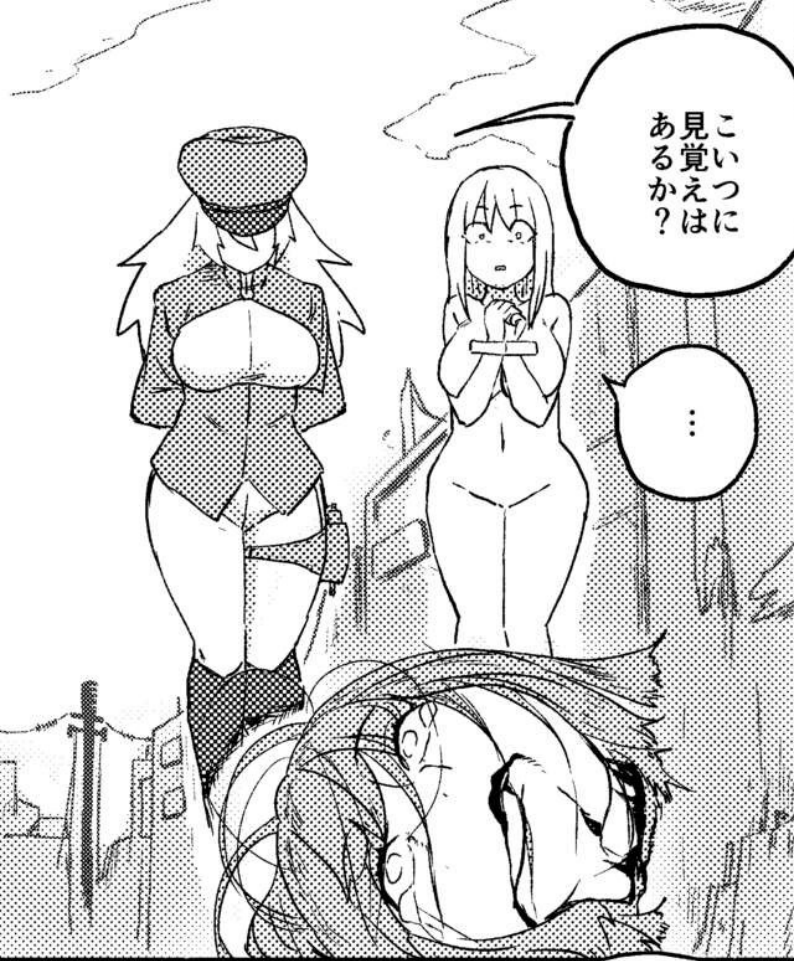
捕虜は要らぬ
との事だ



よって
この場で
処刑する







こいつに見覚えはあるか？

…



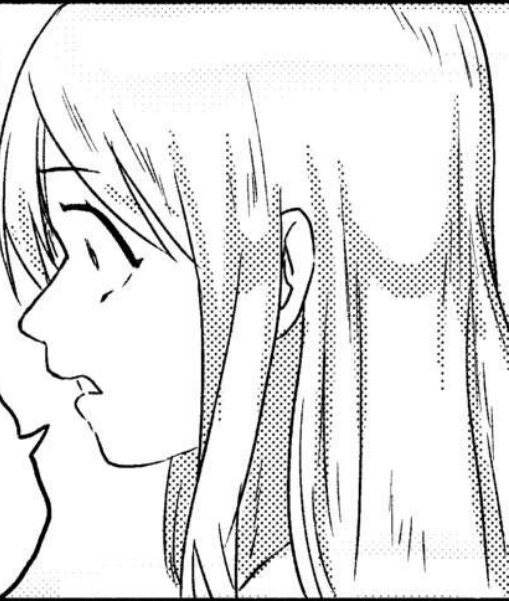
我々は君に感謝しているのだぞ？

これは必要な犠牲だ

なぜ泣く？

私を看病してくれてた娘です…

私が居なくなつたから探しに来たんだと思います…



でも

先輩…
殺される…

先輩…

私のせいだ…



でもやっぱり

愚かだが
おそろく

許せないん
です…

こいつの言う事に
嘘偽りは無い…



協力しようじゃ
ないか

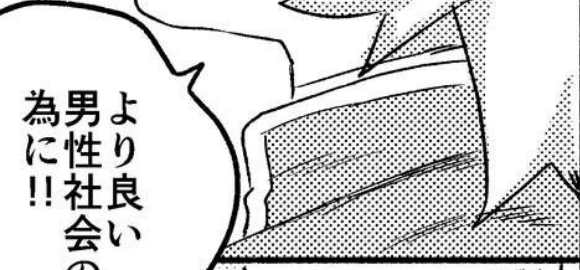
ああ！
もちろんだ！！



あ、あの
いいんですか？



どうやら
君を誤解していた
ようだ
許してくれ



より良い
男性社会の
為に！！



はい！

やはり
愛玩女畜は
頭が悪い…

でも
あの子なら…

あの子なら…

わたくしたちが
満足させて
くれる
はずですわ…

捕まって
殺されたか
裏切られたか

今は
外が気になる

居なくなった二人は
一旦忘れよう

まだわからないけど
こちらの位置は
ばれてると
思うよ



ごめん

あたしがちゃんと
見ていれば...

しかたないよ
私の責任でも
あるし

でも！

おーい！！



外は大変な事になってるよ！

すごい数の
兵隊があつまってる！！

それと

女畜が
一体捕まってるのが
見えた！

いなくなってる
娘かもしれない！



まるで別の誰かが

みんな大丈夫!

いこう!

軍隊が入ってきたらすぐに逃げて合流!

持ち場に ついて!!

乗り移っているかのよう...

昔の先輩じゃない...



お前のことは私が必ず守るからよ...

ドロシーには負担をかけちゃうけど大丈夫?

これ

おう! まかせな!! リーダー!

数十年前に
地下鉄になった

我々はこの
おびき寄せられた

ネットで堂々と
存在を明し
土地勘があり
検挙率も高い
警察ではない

世間の不安に押されて
出動するしかない
鈍重で裏をかきやすい
軍を相手にする

私の考えでは
連中の良い個体が
頭の悪い個体が
居る

また軍の
警察と軍の
不仲まで考えての
行動ならなお
厄介だ

左がに
広がれ

こっちは
通れない

だが



改造突貫兵

連中はすぐに後悔するようになるだろう！



それを見つけたらすぐに後退して報告するだけ…！

暗闇なら灯りをつけるだろうし

大丈夫の着てる装甲服はうるさい

こわいよお…



やつらが来ない…

おかしい…



なんだったっ!!

ヒッ



当然だ
お前達はあくまで
サポーターだ

緊急事態以外は
我々に同行してくる
だけでいい



私達は
こんな狭い
道から入るのか

ん?



なるほどな
お前達もあの
デカブツが怖いから
私達に
助けて欲しいんだな？

リス！

……
その必要は
ない！

なんで？

我らが
隊長殿が
いるからだ！

隊長は損耗の激しい
女畜軍の中で
27年従軍
されている！

数々の戦場で
生き延び
功績を上げている

目を負傷し
お役御免だった私を
隊に編入させてくれたのも
隊長なんだ



それほどまでに
隊長は
素晴らしい女畜なのだ

シッ
静かに

モオッ



え？

あんな大声で
しゃべりながら
入ってきやがった!!

ドロシーさんに
報告だ！



ハハッ
間抜けな
連中だ！



つかまえましたー!!

!!

ひぐっ

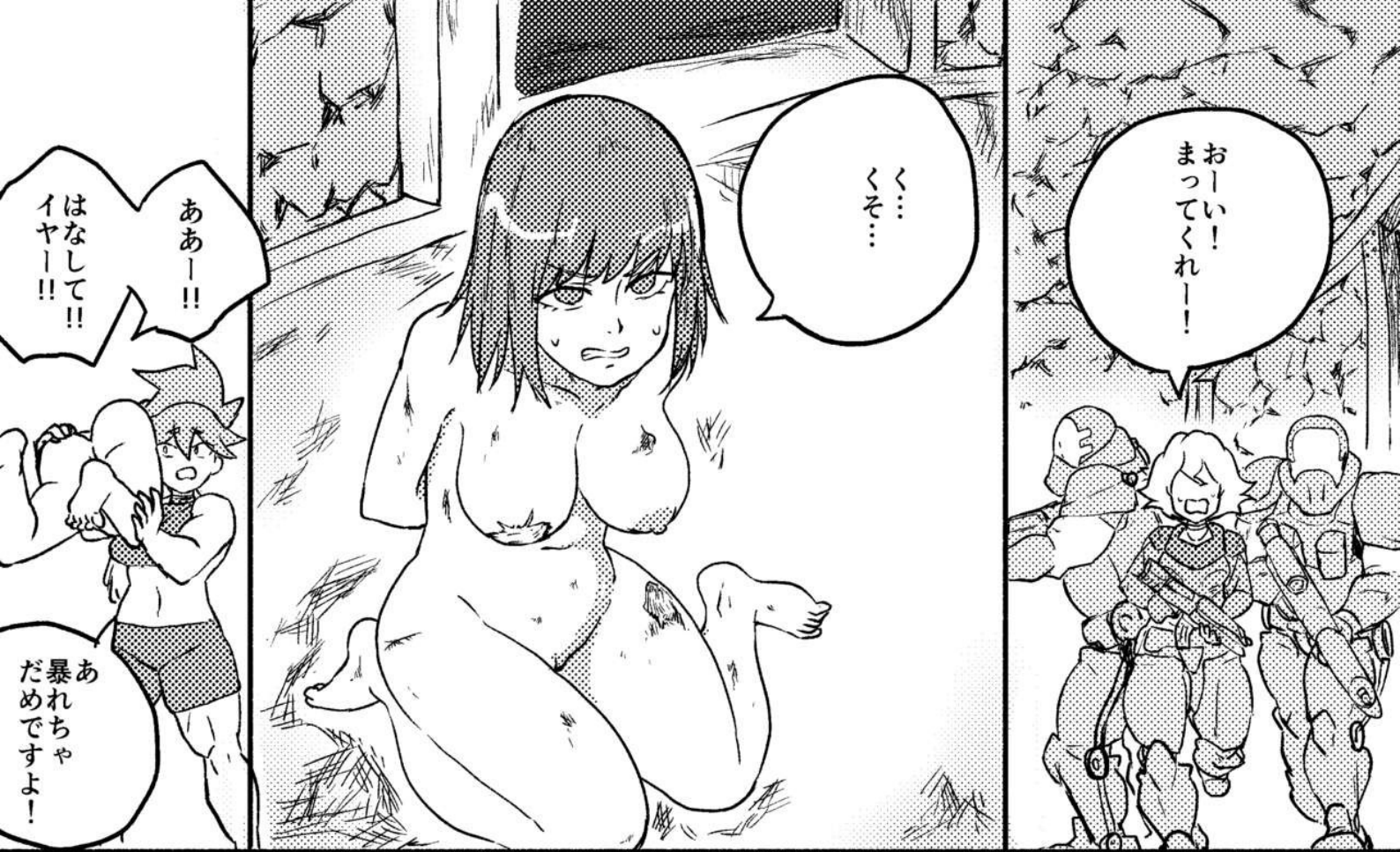


くもの連中だの

やっぱり認証タグつけてねえな

な、なに…動けない…

イヤッ

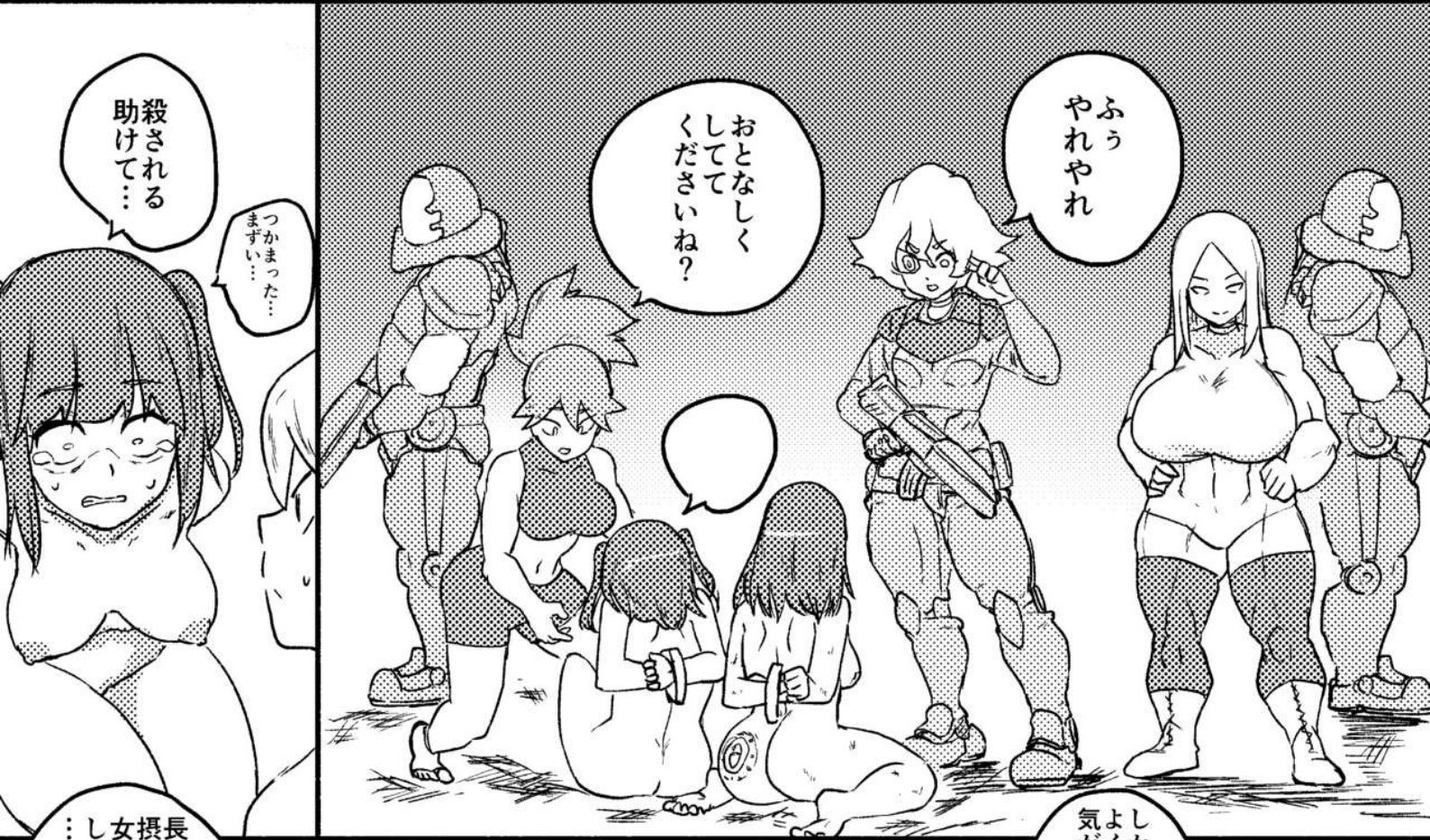


ああー!!
はなして!!
イヤー!!

くく...
くそ...

おい!!
まってくれ!!

あ
だめぢゃ
暴れぢゃ
すよ!



殺される
助けて...

つかまった...
ますい...

おとなしく
してくだ
さいね?

ふう
やれやれ



長期間精液を
撮取していい
女畜の匂い
かな? :
かな?

なん
だそれ!!

うーん

センサーにも
反応は
なかつた

しかし
よくこいつらに
気が付いたな

あ?



おかしい…

そろそろ
報告が
来るはず…

兵隊の光や音
を確認して
すぐ横の通路で
退却

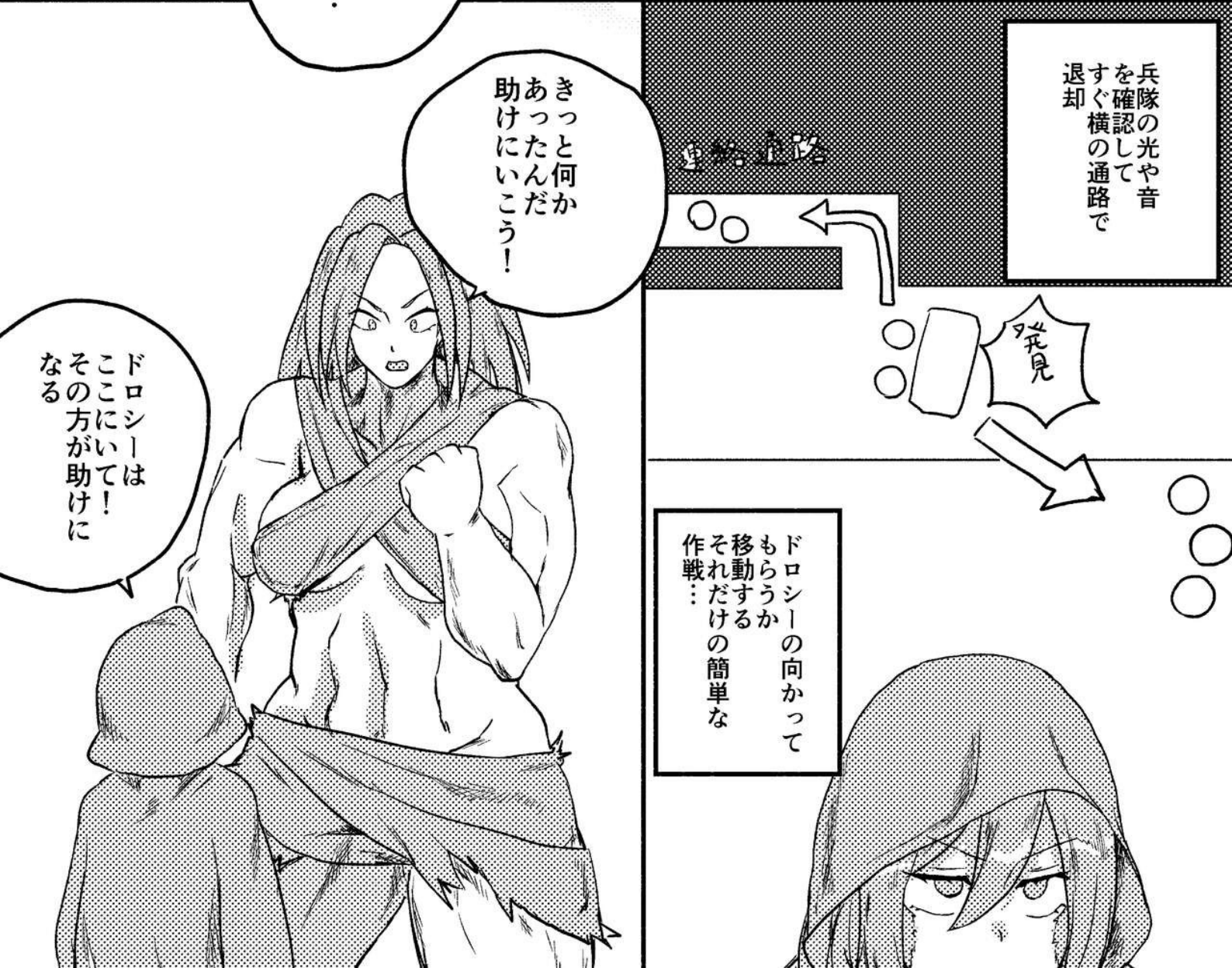
車輪通路

きつと何か
あったんだ
助けに
いこう！

発見

ドロシーの向かって
もらうか
移動する
それだけの簡単な
作戦…

ドロシーは
ここにいて！
その方が助けに
なる



超強力な媚薬です

あなたに拳銃など効きませんから

ぐっ
おとおお!!

あなたのことは調べました
通常女畜が見せるような

男性に仕える事への充足感をあまり見せず

ドロシー!!

老朽化により崩落した箇所
新しく埋めなおした箇所

上手く塞いだり開けたりして特定の位置へ誘導しようとしていました

どうしてここまで道がわかったんですか?

他の女畜女性に強い関心を示していたとあなたのトレーナーは強く望んでいます

限られた時間で作られた道
少しのほころびがあつた

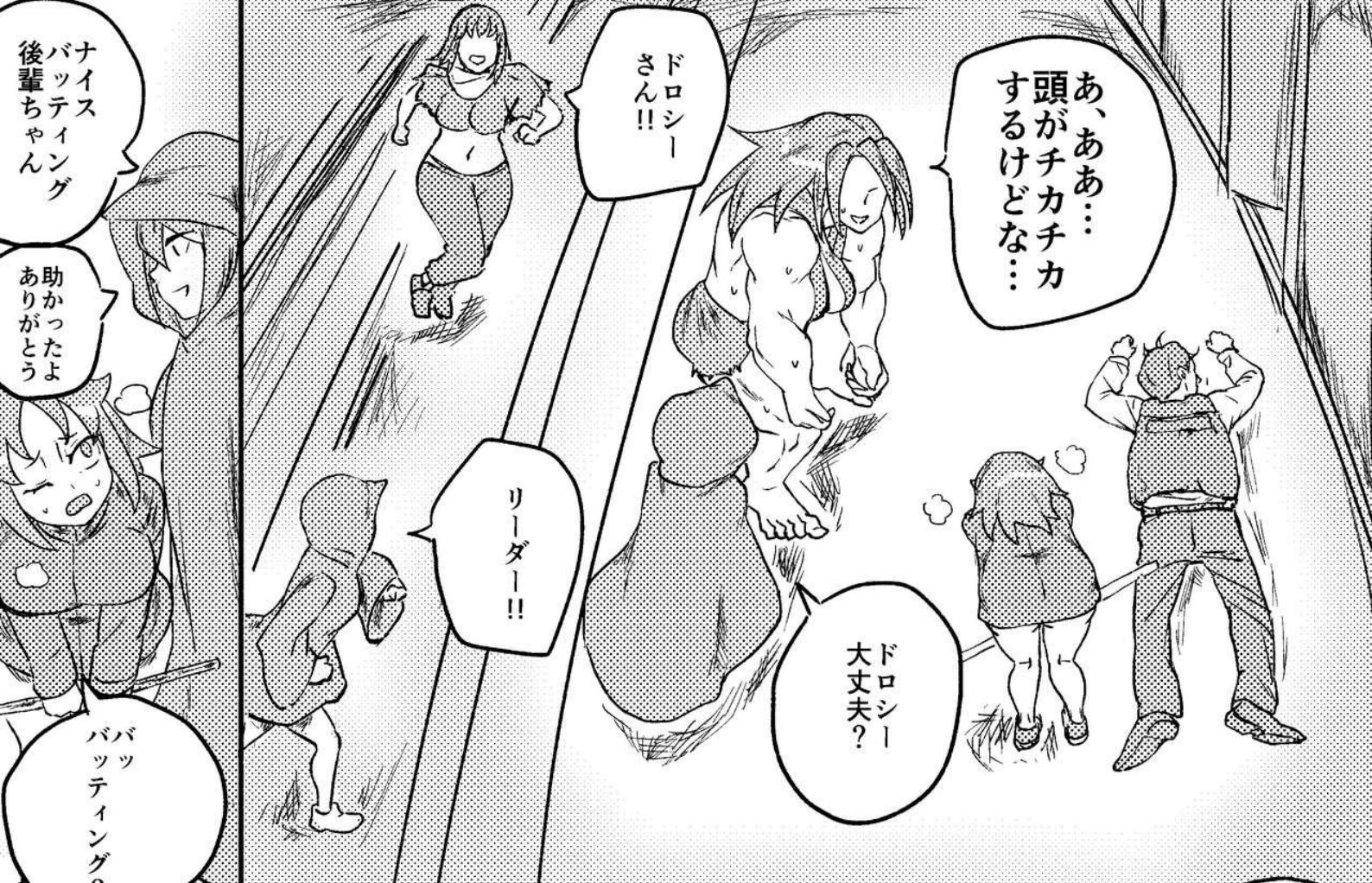
現場派の私からしたら簡単でしたよ

そしてその物言

あなたが蜘蛛の巣のリーダーですね?

大丈夫です
私には

POLICE



あ、ああ…
頭がチカチカ
するけどな…

ドロシー
さん!!

ドロシー
大丈夫?

リーダー!!

ナイス
バツ
テイニング
後輩
ちゃん

助
か
っ
た
よ
あ
り
が
と
う

バ
ッ
テ
イ
ン
グ
?

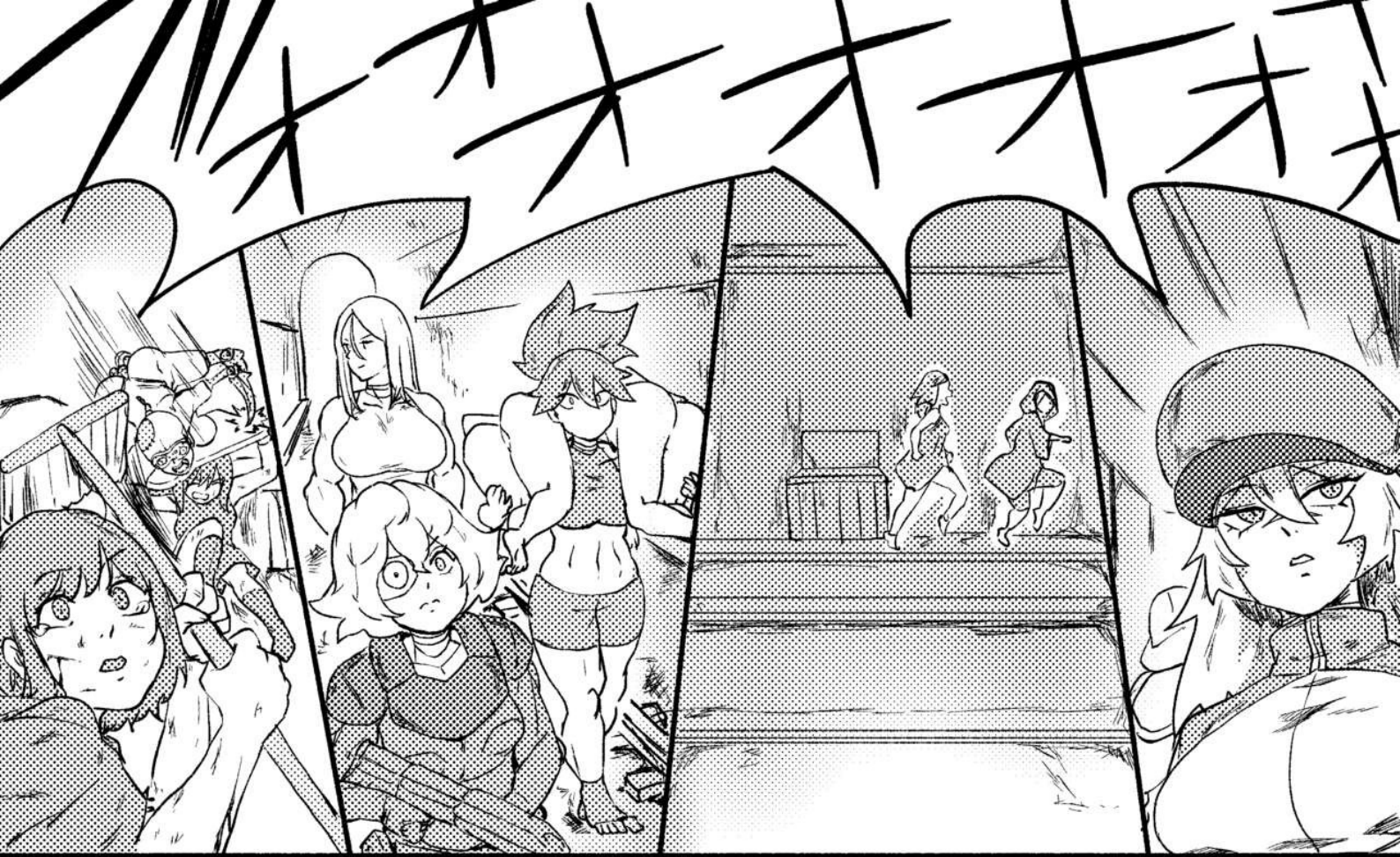


みんなごめん!
すぐ次がくる!

作戦を変えよう!
みんなをここまで
退却させて!
迎え打つよ!!

ミネ
ムニ
準備!!

か
ー
い
!



来い……っ



誘いに乗るしかないはず……



逃げもせず
お出迎えとは



ほお？
……

三式強化装甲服

開く。

顔面装甲とモニター

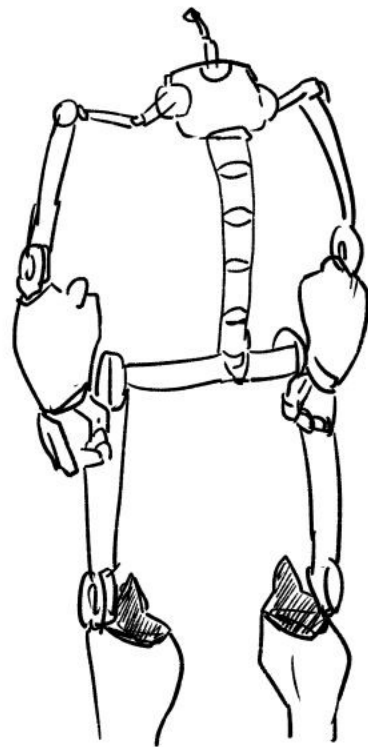
暗視モード
サービモード
が代替可。

プラス
ライフル
を電式のマガジン
パック使用
威力の調整可。

ガスなどを防ぐ
マスクユニット

ホークとか
つけれる

装甲全外し
117-ユニット



女高兵 肉の壁計画
にて一式戦闘服の
企業工芸制作された。

決して女高兵を守るため
ではなく本来戦場で
男性兵士の前に立ち
守るために装備する。
旧式化しているが
非常に安価で
パーツもほとんどユニット
化されており、
メンテナンスも簡単

117-
式戦闘服



歩兵には
若干過剰な
重装甲

内部は完全に
密閉されており。
汚染地帯がガス
などに耐性がある

基本的に重装甲高117-の
女高兵用戦闘スーツ
各部隊に潤沢に配備
されており。
部隊や警備兵などから117-が
異なる

くもの巣
構成員



乙女のような
布をまとった
コート

身体に
大きなキズも
入らずに
いる個体も
多い

30人くらい
いる
←



疲れた女畜と呼
ばれ
使いはたされ
心も身体も
本来廃棄される
はずの女畜。
中には業者入った
せいで、ゴミを捨てる
所有者もいる。
はぐれ女畜という
社会問題と
なっている。

基本的に裸を嫌い
何か身につけたがる。

くもの巣 構成員

30~40体くらいの女畜の集団

なぜかはぐれ女畜となっても
出頭する個体は多くなく、
自らを捨てた所有者と持っている
可能性はある。

